

# マイクロヒューズ

Daito Communication Apparatus Co., Ltd.

小型サイズで、定格電流も幅広く0.3A~20Aまでをご用意しております。

一部製品では、ヒューズ端子間が7.5mmとなっているため、端子間のランドパターン間も広く絶縁距離に余裕があります。

また、国際標準とされるUMF規格準拠の製品を多数取り揃えており、その他各種安全規格を取得しております。

## アプリケーション例

- ・郵便機器
- ・医療用X線装置/CTスキャン
- ・イーサネットスイッチ
- ・LED照明/一般照明機器
- ・デジタル家電/白物家電
- ・浴室乾燥機
- ・パワーコンディショナー
- ・スマートメーター
- ・雷防護ユニット

など

## 製品一覧

品名	形状	サイズ	定格電流	定格遮断容量	安全規格
VM		10×4×8mm	0.63~5A	AC/DC 125V 50A	C <sub>RU</sub> US 
BE		9×4×8mm	1~5A	AC125V 50A DC63V 50A	C <sub>RU</sub> US  M
BE-P ポッティング対応品			1.6~5A	AC/DC 125V 50A	C <sub>RU</sub> US  M
SBE タイムラグ			1~5A	AC125V 50A DC63V 50A	C <sub>RU</sub> US   M (2~5Aまで)
BL		12.5×7.5×10mm	1~10A	AC250V 100A	C <sub>RU</sub> US     M
SBL タイムラグ			1~4A	AC250V 100A	C <sub>RU</sub> US     M
SBH タイムラグ			1~4A	AC300V 100A	C <sub>RU</sub> US 
BX		12.5×7.5×10mm	12.5~20A	AC250V 100A	C <sub>RU</sub> US 
GU		27.8×17.7×17mm	10~30A	AC250V 2,500A DC125V 1,500A	C <sub>RU</sub> US 
			40, 50A	AC250V 1,500A DC125V 1,000A	
BEH		9×4×8mm	1~3.15A	AC250V 35A	C <sub>RU</sub> US 
			4A	AC250V 40A	
			5A	AC250V 50A	
ホルダ対応	LM	10×4×8mm	0.3~5A	AC/DC 48V 50A	  
	DM	8×6×8.5mm	0.3~3.2A	AC/DC 125V 50A	  
	HM	10×6×10mm	0.3~5A	AC/DC 250V 50A	  

※このリーフレットの記載事項は印刷時点では正確なものが、内容は予告なく変更することがあります。 ※定格電流のバリエーションや管形ヒューズの端子形状など、お気軽にお問合せ下さい。

メーカー

 大東通信機株式会社  
Daito Communication Apparatus Co., Ltd.

住所: 東京都目黒区下目黒2-17-7  
TEL: 03-3495-6711  
FAX: 03-3495-5722  
E-Mail: sales@daitotusin.co.jp  
URL: http://www.daitotusin.co.jp

販売店

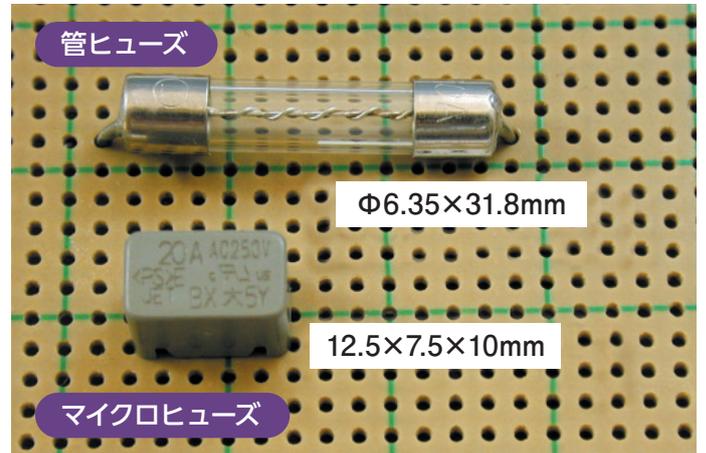
# マイクロヒューズへの切替で、 トータル的なコストダウンしませんか？

管ヒューズではできなかった、高密度・自動実装をマイクロヒューズで実現！！

## マイクロヒューズは

基板表面に導電部の露出が無い為、パターン設計において絶縁距離を意識することなく設計することが可能となり、これにより基板の小型化が容易です。また、管ヒューズとは異なり自動実装が可能\*であるため、実装工数の削減に貢献致します。

※～10Aまで



	大東のマイクロヒューズ	管型ヒューズ
サイズ 実装面積	12.5×7.5×10mm 94mm <sup>2</sup>	Φ6.35×31.8mm 202mm <sup>2</sup>
基板表面への導電部の露出	無	有
包装形態	つづら折りテーピング	バラ

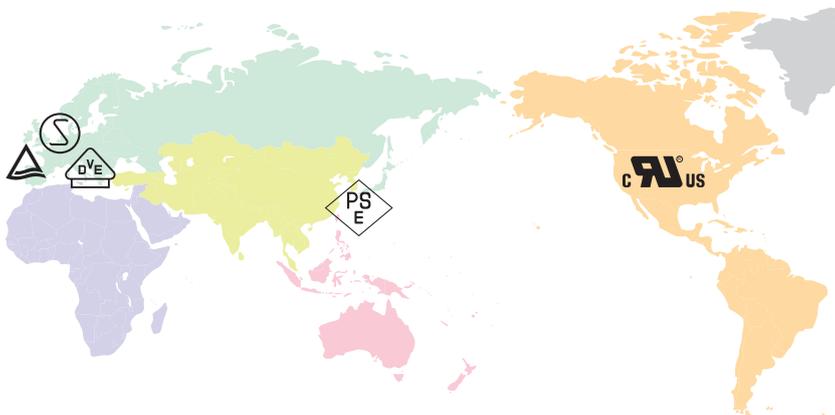
- ←実装面積小
- ←高密度実装可能
- ←自動実装可能\*

※～10Aまで

このため、基板の小型化に大いに貢献！

## 国際標準規格:IEC60127-4対応ヒューズ

●国際基準規格 IEC60127-4



### グローバル展開される製品に

大東マイクロヒューズの多数はIEC60127-4 (国際標準規格) 準拠製品であり、取得規格別に管理・選定する必要はなくなります。それにより装置の安全規格面での標準化が容易になり、スムーズな設計が可能です。

安全規格ごとに登録されている製品スペックが異なるため管理が容易！

基板の小型化(設計)、自動実装(製造)、部品登録後の部品管理の簡便さ(量産後の管理)と製品の設計から量産後の管理まで、トータル的なコストダウンを行えます。